別紙様式３

教育、研究及び診療・心理臨床実践に関する調書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

１　教育について

|  |
| --- |
| （１）教育に関する経験（教育に関する研修活動への参加経験を含む。） |
|  |
| （２）担当期間・担当授業科目・時間数 |
|  |
| （３）教育についての抱負 |
|  |
| ２　研究について |
| 研究の概要と抱負 |
|  |
| 3-1　診療について（臨床系のみ） |
| 診療の実績と抱負 |
|  |
| 3-2　診療・心理臨床実践について（臨床心理学科のみ） |
| 診療・心理臨床実践の実績と抱負 |
|  |

教育、研究及び診療・心理臨床実践に関する調書の作成にあたっては，以下のとおりとすること。

(1)　文字サイズは10.5ptとすること。

(2)　枠の大きさは変更してよいが、２ページ（臨床系および臨床心理学科においては３ページ）

以内に収めること。

（記載例）

別紙様式３

教育、研究及び診療・心理臨床実践に関する調書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

１　教育について

|  |
| --- |
| （１）教育に関する経験（教育に関する研修活動への参加経験を含む。） |
| 一例）  教育者としての研修・指導実績  １）平成１２年○月：○○大学医学教育ワークショップにて研修  ２）平成１３年○月：○○Managementに関するワークショップにて研修（臨床○○学の卒前・卒後教育に関  　　するカリキュラムプランニング：日本○○学会主催）  ３）平成１３年第○回臨床研修指導医養成講習会（○○○○学会）に参加  一例）  ○○大学医学部○○科学に在籍し、○○○○教授の指導のもと○○部門を担当、大学院生、研究生の研究指導を  行ってきた。また、○○年○月から○○年○○月まで、米国○○大学にて、○○病グループの責任者として研究  従事者に基礎研究の指導を行った。○○年○月から現在まで専ら○○を中心に○○学、○○学を医学部生に、また  病棟医長として医員(研修医)の教育を担当している。 |
| （２）担当期間・担当授業科目・時間数 |
| 一例）  医学部２年次生：「○○○○」「○○○○」の講義を担当、各１時間  医学部３年次生：「○○○○」「○○○○」の講義を担当、各１時間  医学部５年次生：臨床実習性に対する「○○○」の臨床講義、毎週１時間  ○○学生の実験指導… |
| （３）教育についての抱負 |
| 一例）※文章的なもの  　私は、○○○と○○○との関連や＊＊＊について、○○大学医学部生を対象に………。  また、○○○について○○大学にて大学院生を対象とし講義・実習を行ってきた…。  　これまで私が講義・実習を行ってきた対象はいずれも広い意味で○○科学に通じる○○であり、講義するにあたり特に重視したのは知識の伝達ではなく、○○○の多様性、＊＊＊の重要から…。  　医学生に対し○○における○○を教育にフィードバックして、…。  護**別紙様式３記載上の注意**  ・基礎系教員及び看護学科教員については、3-1の作成は不要。  ・3-2は、臨床心理学科教員のみ作成。  ・1 教育についての(1)及び(2)は、所属機関等における教育関係を記載する（過去、在職していた機関での教育関係を記載しても結構です）。  例）教育者としての研修・指導実績等、  講義・実習等、卒前・卒後教育の役割等  一例）※個別列記式のもの  　学生に対する教育  　　講義）…○○科学のその他最新のトピックスを交え、…。  　　実習）…に基づいた○○、  　研修医に対する教育  ・医師としての…・  ・○○医に必要とする…  ・  　大学院生、研究生に対する教育  ・学位論文の…を考え、…を指導  　　・理論的考察の…  　　・科学者としての考え方…  　総論 |